

研究名	子宮頸癌の放射線治療予後予測因子としてのバイオマーカー（ApoC-II）の再現性評価に関する多施設共同前向き試験 JROSG10-4
研究責任者名	所属 広島大学病院 放射線治療科 職名 教授 氏名 永田 靖
研究期間	試験実施期間：西暦 2016 年 11 月 16 日（倫理委員会承認日）～西暦 2018 年 7 月 31 日 試験対象期間：2015 年 7 月 21 日～2016 年 7 月 31 日
対象者と対象となるデータ	子宮頸部扁平上皮癌患、FIGO Stage Ib～IVa 期、ECOG PS 0～2、20 歳以上 85 歳以下 「子宮頸癌の放射線治療予後予測因子としてのバイオマーカー（ApoC-II）の再現性評価に関する多施設共同前向き試験 JROSG10-4」に参加していただいた患者さんの 2015 年 7 月 21 日から 2016 年 7 月 31 日までの医療情報。
意義・目的	子宮頸癌に特有なバイオマーカーはなく、特に放射線治療の効果に関するバイオマーカーは、まだ分かっていません。今回、国内の多くの施設と協力して、放射線治療効果に関するバイオマーカーを、調べる研究にご協力頂きました。研究に参加していただいた患者さんの放射線治療後 1 年 10 ヶ月追跡調査をさせていただき、広島大学病院では 2015 年 7 月 21 日に試験を終了しておりました。しかし、当初予定した追跡調査期間では十分な情報を得ることができなかつたため、改めて追跡調査期間を延長し、観察研究として本院における本研究の前回終了以後のデータを収集させていただくことが本研究の目的です。
方法	本研究は、既存の診療録（カルテ）情報を後向きに調査します。 項目 ・画像診断（CT 検査）などによる増悪、再発の確認 ・生存調査 研究終了後に転院され、広島大学病院に通院されていない患者さんの追跡調査については、本院研究者から転院先の医師に直接、診療情報提供を依頼し医療情報を収集させていただきます。
共同研究機関	関西医科大学、佐賀大学医学部附属病院、琉球大学医学部附属病院、埼玉県立がんセンター病院、広島大学病院、群馬大学医学部附属病院、徳島大学、埼玉医科大学総合医療センター、千葉大学、三重大学病院、大阪府立急性期・総合医療センター、兵庫県立がんセンター、順天堂大学医学部附属浦安病院、国立病院機構福山医療センター

<p>個人情報 の保護に ついて</p>	<p>個人情報の取扱いについては、他人に漏れないように、慎重に行います。解析を開始する前に、診療情報からあなたの住所、氏名などが切り離され、代わりに新しく符号がつけられます（匿名化）。あなたとこの符号とを結びつける対応表は、研究責任者が厳重に保管します（連結可能匿名化）。こうすることによって、データの解析を行う者には符号しかわからず、誰の検体を解析しているのかわかりません。また、あなたが特定されないように匿名化して、学会や専門誌に発表することがありますが、個人が特定されるような形で公表されることはありませんので、プライバシーの侵害などの不利益を被ることはありません。</p>
<p>問い合 せ・窓 口</p>	<p>担当者：兼安祐子 メールアドレス：kaneyasu@hiroshima-u.ac.jp 電話番号：084-922-0001（内線 PHS7319） 広島大学病院 放射線治療科</p>
<p>研究の資 金源</p>	<p>運営費交付金</p>